

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている	競艇場（職員）	販売量の動き	・12月のレースと全国販売のレースで売上が増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・クリスマスが週末であるため、例年に比べてケーキを中心に販売量が増加している。
	やや良く なっている	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・数は少ないものの、良いものを探している客の来店がある。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・客単価は変わらないが、来客数が増加しているため売上が増加している。
	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・12月の販売台数は徐々に上向き、前年比130%、前々年比100%となっている。	
	乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・新商品とエコカー減税の延長やエコカー補助金の話題で、来客数が昨年並みになっている。	
	乗用車販売店（副店長）	販売量の動き	・前月に引き続き、全社の新車販売実績が過去5年で最も良い年と同じ販売量を確保している。	
	住関連専門店（営業担当）	単価の動き	・新しいマンションが建ち、住人の家具購入単価が上昇している。	
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ファミリー客が回復している。	
	都市型ホテル（企画担当）	お客様の様子	・宿泊稼働率の増加、宴会需要は前年並みとなり、東日本大震災の影響はほぼなくなっている。	
	通信会社（広報担当）	販売量の動き	・携帯電話についてはスマートフォンの影響も加わり、トレンドどおり需要が高まっているが、業界内競争もより激しさを増しており、客動向に合わせた商品やサービスの提供が今後の課題となっている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べ来客数も増え景気が少し良くなっている。	
	変わらない		商店街（理事）	お客様の様子
商店街（代表者）			来客数の動き	・クリスマスや年末という様子がみられない。
一般小売店〔印章〕（経営者）			来客数の動き	・年賀状印刷時期であるが、来客数は昨年比で10%減となっている。
一般小売店〔酒店〕（経営者）			お客様の様子	・お歳暮時期から正月用品の販売時期に移り、例年どおりの売上があり、付き合いの部分に客の節約はみられない。
百貨店（営業担当）			お客様の様子	・同一商圈内にアウトレットモールや量販店がオープンしたが、若年層には影響があったものの、ミセス層に対しては品ぞろえが及んでいない。
百貨店（販売促進担当）			単価の動き	・単価下落の傾向が続くとともに、おせちやお歳暮の件数の絞り込みや、宝飾・美術等の高額商品の動きも低迷している。婦人服を中心に回復基調がみられてきたが、全体的な単価下落の傾向からみれば、客の価格に対する厳しい目線は継続している。
百貨店（売場担当）			単価の動き	・ヤング向け衣料のコートが婦人、紳士とともに苦戦しているが、その他商品群は全般的に前年売上をクリアしている。クリスマス需要のラグジュアリーブランドも前年をクリアしており、店全体でも予算比100%となっている。
百貨店（購買担当）			お客様の様子	・お歳暮ギフトセンターも終了し、前年に比べ売上は8割である。衣料品関係は気温によって動くアイテムが変化し、コートやジャケットの売上が伸びず、ニットで過ごしたり昨年のもを利用する客が増加している。
百貨店（売場担当）			来客数の動き	・12月は年間で最も来客数が多いが、お歳暮などの目的買いやイベント時等に来店があるものの、減少に歯止めがかかっていない。
百貨店（電算担当）			販売量の動き	・数年前と比べかなり売上が悪く、昨年と比べると同程度であるが、依然として低迷している。
百貨店（売場担当）			販売量の動き	・美術品や時計、寝具は売れているが、そのほかの単価の高いものは売れていない。
スーパー（店長）			来客数の動き	・客単価の変化はなく、景気はどちらとも言えない状況である。
スーパー（店長）			販売量の動き	・販売点数・来客数ともに3か月前とほぼ同水準である。

	スーパー（店長）	販売量の動き	・競合出店で来客数は減少しており、客1人当たりの買上点数が横ばい状態で販売数が増えていない。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・購買動向については必要以外の物は儉約している様子がうかがえる。お歳暮の購入件数も昨年より減少しており、良くも悪くもない状況である。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・地方経済好転の兆しはみえず、客の買物動向は以前と同様に食品を中心とした必需品を低価格で買う状況である。
	スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・来客数の変動はないが、買上点数が2%程度減少し、衝動買いやついで買いはほとんどみられず、必要なものを最小限購入している。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・売上単価が変わらない。
	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・大きな変化はみられない。
	その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	販売量の動き	・高額品は低迷しているが、来客数・販売量・客単価は横ばい傾向である。
	その他小売店〔ショッピングセンター〕（営業担当）	単価の動き	・気温が低下してきたことにより重衣料が高稼働となっているが、全体的には変わらない。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・大手電機メーカーの撤退で、心理的影響もあるが財布のひもが固く、今後の不安もあり、現状では客単価の低下と来店頻度の減少がみられる。
	一般レストラン（外食事業担当）	お客様の様子	・家族連れのお客が減少している。
	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	お客様の様子	・飲食では低価格商品への移行がかなり増えてきており、土産品も低価格、少量傾向が続いているとともに、自己消費が増えてきている。
	観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・個人の宿泊客は順調に推移しているものの、団体客が前年を下回っている。また、料飲部門は中旬以降伸び悩んでおり、おせち料理の販売も前年を下回っている。
	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・観光客、ビジネス客の動きはともにほぼ前年並みに推移している。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・景気に対して良い材料がない状況である。円高で旅行に良い状況であるが、燃油サーチャージが高額のため相殺されている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会時期で乗客数が増えるのが例年だが、今年は少ない。
	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・節約モードのなかで削るものは極力削るが、出すものには出すという二極化した消費行動になっている。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・契約数が3か月前と同様で計画どおりに推移しておらず客の動きも鈍い。
	テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・クリスマスのイルミネーションのイベントを実施したものの、週末ごとに雪が降る悪天候が続く、客足に大きな打撃を受けている。
	美容室（経営者）	単価の動き	・3か月前と比べて来客数に変化はない。客の節約志向は変わらず、客単価は下落している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・客単価は上昇している。1回の消費額は大きくなっているが、来客数は減少し来店周期も伸びている。
	その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当）	お客様の様子	・利用者本人や家族の話から、ここ最近で経済状況が変化した様子は見受けられず、経済的に苦しい人も余裕がある人も特別変わった様子はない。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・年度末で現在受注中の作業のほか一定量の仕事があり変化はない。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月は設計契約が少なく、売上が伸びていない。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・競合他社から低価格の建売住宅や分譲マンションは比較的好調だと聞いている。景気の先行きに対する不安から、費用や時間を要する注文住宅は施主の決断ができない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・3か月前から低価格の商品が売れている。12月の売上は若干下降気味である。

商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減少しているうえに追加の注文も減少しており、客単価が上昇しない。	
商店街（代表者）	販売量の動き	・年末需要が例年より活発でない。	
商店街（代表者）	それ以外	・今年のクリスマス歳末商戦は高額品と低価格品の二極分化が激しく、中高額品の店舗の来客数が少ないが、超高額品を購入する客がある反面、一般的なクリスマスギフトの単価は低下傾向にあり、売上高の確保は難しくなっている。	
一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・国内の売上は前年を下回っているうえに、寒波の影響で来客数も少なく今後の展開を懸念している。ただ、海外からの注文が増加し、トータルでは前年比100%となっており、今後ますます海外のウェイトが増える。	
一般小売店〔酒店〕（経営者）	販売量の動き	・お歳暮商戦もバツとせず、忘年会も取りやめにする会社が増え、繁華街を歩く人がかなり減少しているため、それに伴って販売量もかなり減少している。	
一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・昨年に比べ年末の生活用品の購入が激減しており、景気は悪くなっている。	
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・近隣にオープンしたアウトレットモール等の大型ショッピングセンターの影響で、アパレルの売上が昨年同月比で80%程度に落ち込んでおり、特にアウトレットモール等に出店している同じブランド店の落込みが大きいことに、地域経済の低迷が表れている。	
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・11月下旬と12月初旬に2つの大型ショッピングモールがオープンしたこともあり、12月の来客数が前年を大きく下回って推移している。売上高も2～3か月前と比較して3%程度下回っている。	
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・日用品は変動していないが、年末の予約販売商品の数量が伸びていない。	
スーパー（販売担当）	単価の動き	・購入点数、客単価とも減少傾向である。クリスマスケーキについては、ホールを買う客よりショートケーキのバックを買う客が増加している。	
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・前年に比べクリスマスケーキを購入する客が2割減少していることもあり、客単価が低下している。	
家電量販店（店長）	販売量の動き	・アナログ停波によりテレビの売上は低下し、暖房器具なども鈍い出足である。	
家電量販店（店長）	来客数の動き	・気温が下がってきたため暖房関連商品が動いてはいるものの、来客数は依然として減少している。	
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・DVDをはじめ年末によく動く商品が動かない。	
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・エコカー補助金等の報道で、客は購入を差し控えている。	
その他専門店〔布地〕（経営者）	来客数の動き	・後半は天候が悪く来客数が減少している。	
その他専門店〔海産物〕（経営者）	販売量の動き	・お歳暮の購買単価が低下し、来客数も減少しており景気が良くなる状況にない。	
一般レストラン（店長）	単価の動き	・忘年会シーズンだが、宴会予約が減少するとともに、客単価が低下し、一般の客単価も低下傾向になっている。	
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・昨年と比べ忘年会の利用が激減している。例年行っている企業でも不景気を理由に中止するところも出ている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会でタクシーを利用する客が昨年より少し減っている。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・次年度の売上見込みが全く立たない状況である。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量、受注金額ともに低下している状況にある。	
住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・客は住宅関連の景気対策の動向をみている状況であるため客の動きが悪い。	
住宅販売会社（販売担当）	販売量の動き	・住宅関連では賃貸物件の着工はそこそこの件数になっているが、持ち家住宅着工件数・分譲地の動きともに芳しくない。住宅エコポイント対象となる駆け込み需要の反動と減額の影響が数か月続く。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・ボーナス支給後の来客数、購買金額ともに低下している。
	百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・売上は昨年に比べて低下傾向が続く悪化が進んでいる。

		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店は年末前から集客策を前面に打ち出し、ポイントや目玉商品の展開を行っており、1人当たりの買上点数に大きく影響が出てきている状況で、年末年始にかけて更なる激化が予想される。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・安売りのときには客が集中するが、出費を控える傾向が強い。雑貨品は家計でのウェイトが低くなっている。
		スーパー（財務担当）	お客様の様子	・クリスマス等特別なイベントのときは既存店の来客数、客単価ともに前年並みになるが、平常時は節約のため前年割れが続いている。
		その他専門店 [時計]（経営者）	単価の動き	・クリスマス、歳末で来客数は変わらないものの、宝飾品等の高額品の売上が極端に減少しており、今後に不安要素がある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数は毎月少しずつ悪化し、12月も昨年と比べかなり落ち込んでいる。
		観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・昨年と同じ時期と比べて来客数が減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・売上はかなり落ち込んでいる。
		テーマパーク （業務担当）	来客数の動き	・冬季来園促進の柱である行事を展開したが、来園者が集中する週末に降雨や降雪による天候不順があり、行事期間を通しての来園者数は見込みを大幅に下回っている。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	—	—	—
		農林水産業（従業者）	それ以外	・3カ月前と比較すると、水揚げ数量で794t、水揚げ金額も2億5,700万円の増加である。単月の水揚げ数量は前年と比べ570t増加、比率で120%となっており、水揚げ金額も2億2,000万円増加、比率で141%となっている。
		食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・流通関係での需要が後半伸びているおり、発注が多い反面、供給不足という不安要素もある。
		窯業・土石製品製造業 （総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼向けの工事案件、各地のごみ焼却炉の受注が重なり生産は多忙な状況であるが、一部の部門はタイの洪水の影響で生産量が半減している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・中旬以降、取引者数と平均単価の増加が目立っている。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高により輸出品の収益力が低下している。
		非鉄金属製造業 （経理担当）	受注量や販売量の動き	・全体としての動きがみえない。エコカー向け素材は好調だが電子機器向け素材はやや低迷している。
		金属製品製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は多くこれまでの6か月と同様にフル生産で対応している。
		一般機械器具製造業 （経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・自社製品の売上は、国内向け市場での景気の冷え込みによる売上不振と海外向け市場での円高の影響で厳しい状況が続いている。
		電気機械器具製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災による落ち込みから緩やかに改善し、回復のテンポも加速しつつあったが、円高やタイの洪水被害に伴う収益の悪化により足踏み状態である。
		輸送用機械器具製造業 （経営者）	受注量や販売量の動き	・受注数が引き続いてあり変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設、不動産関連とも荷動きが鈍いまま推移しており地域全般をみても活気がない。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・依然として小口工事に追われ、技術者の稼働率は高い割に利益が上がらない。
		輸送業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・今月はスポット作業があり景気はやや良いが、この作業がなければ厳しい状況である。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・情報関連の設備投資を行う客で、設備投資の回収期間が長期にわたる案件が増加している。とりあえずの売上にはつながるものの、次期の新規導入や更改時期が延びるため長期的には厳しい。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数ともに横ばいである。
	やや悪くなっている	食料品製造業 （総務担当）	取引先の様子	・取引先の売上が良くなる情報が一つもない。
		化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・全体的な景気の先行きに不透明感があるため、大手取引先の価格見直しが具体的に提示され利益を圧迫する基調にある。
		輸送用機械器具製造業 （経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの発注内示が大きく減ってきている。

	その他製造業 〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・日本国内はもとより海外の仕入材料のコストアップが続いており、在庫調整による受注の減少、価格の値下げ要請が相次ぐなか、業績も非常に厳しい状況となっている。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・市内の大手製造メーカーの経営統合に伴い、それまで行っていた業務量が減少している。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の販売が長期低迷の状況にある。	
	金融業（自動車担当）	取引先の様子	・中国での販売不振や欧州景気の低迷から生産台数は伸び悩んでいる。円高による輸出採算の悪化もあり減収が続いている。一方、コスト削減の一段の強化から、黒字は何とか確保できる状況である。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・当地では昨年10月に国体があった影響で、9月ごろから準備期間もあったため人の流れが若干増加している。また、小売・サービス業を中心として売上高が微増していたが、国体終了後は通常の売上に戻っている。その一方で、メーカー等にはここ3か月の景気に変動がみられず、全体的には3か月前と比較して景気は悪くなっている。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引販売量の減少に伴い売上も減少している。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・一般的に発注の打診や問い合わせはあるが、単価が問題にならないほどに低く、儲けになるような仕事はほとんどない。また、製造業では節電による影響からか、材料費の値上がり徐徐に利益を圧迫してきている。	
	悪くなっている	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・客からの発注や引き合いが当初想定していたほど集まっておらず、販売量と生産量が減少している。9月に約9割であった主力の製鉄所の稼働が、直近では約8割の稼働となっている。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が目に見えて減少している。
雇用関連	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・円高の影響で輸出関係の製造業の求人意欲は低いままだが、医療や福祉関係の看護、介護職の慢性的な人手不足や工事量の増加に伴う建設業からの建設作業員、サービス業の通信販売のテレホンサービスの求人募集の意欲が高い。
	やや良くなっている	求人情報誌制作会社（支社長）	求人数の動き	・2013年の新卒採用は、前年より増えるとする企業が8.6%、減るとする企業が5.8%と改善傾向にある。また、中途採用も増えるとする企業が6.6%、減るとする企業が4.0%と増える企業が上回っている。しかしながら方向を決めかねている企業も少なくないのが変動要因となっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新年号の新聞への広告出稿が前年を上回っており、全国広告だけでなく地元広告も順調で、景気がやや回復してきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人に関して、自動車関連が堅調な製造業が増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・11月の新規求人数は前年同月比4.5%増加し、前月比17.8%増加している。一方、新規求職者数は前年同月比4.9%減少し、前月比で6.8%増加している。年末を控え臨時求人が大量に出たため、新規求人数は大幅に増加している。一方、10月に新規求職者数が大幅に減少した反動から、今月は前月比では増加に転じたが、前年同月比では減少を続けている。これから年末にかけて求職者数が減少する時期であるため、相談窓口は比較的空いている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・例年みられる年末の繁忙期に向けた駆け込みの派遣依頼も少なく、求人総数自体は横ばいである。12月は特に求職者の動きが鈍く、求人とのマッチングに苦慮している。
		人材派遣会社（支社長）	求職者数の動き	・正社員の転職希望者数が3か月前と比べて横ばいの状況が続いている。
		求人情報誌制作会社（広告担当）	採用者数の動き	・各大手の採用が2か月遅れとなっており、地場の中小企業まで企業研究が及ばず、各社苦戦覚悟のスタートとなっている。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	周辺企業の様子	・製造業の今後の生産増の見通しが立っていない。

	その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・求人は卸小売業で携帯電話や太陽光発電の販売スタッフの大量求人があり大幅増加となっている。一方、建設業では公共工事減少の影響により、技術者の求人が大幅な減少となっているが、求人全体では前年比横ばいで推移している。
やや悪くなっている	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・求人数が鈍化傾向にあり、製造業はやや持ちこたえているものの、サービス業は顕著となっている。
悪くなっている	—	—	—